

# 研究助成第28回三重教育文化賞

研究テーマ

「ともに生き、学びあい、育ちあう学校をめざして

子どもたちが主体となる豊かな学びの創造を」



研究テーマにそって自主的なカリキュラム開発にとりくむ学校・個人や、子ども文化の育成に貢献している団体に対し助成をします。

#### 一 応募内容と対象

1 学校教育領域

研究テーマにそって自主的なカリキュラム開発にとりくな学校・個人の教育研究実践の企画

- (1) 団体部門 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育研究実践計画
- (2) 個人研究部門 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教職員の教育研究実践計画
- (3) 課題研究部門 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教職員の教育研究実践計画 ※課題研究部門は「主権者教育」の実践とします。
- 2 子ども文化領域

子ども文化の育成に貢献しているサークル、団体の活動計画

#### 二 応募方法

1 学校教育領域

これからとりくもうとしている、今とりくんでいる教育研究、教育実践の内容を「企画書」として提出してください。実践計画やとりくみのねらい、実践に必要となる経費などわかりやすくお書きください。

2 子ども文化領域

子ども文化の育成にかかわる事業でこれからとりくみたい活動や、現在とりくんでいることも含め、さらに継続、発展して進めていこうとする活動に必要な経費などを「企画書」として提出してください。

※1、2とも企画書(別紙参照)に必要事項を記入の上、三教組各支部へお送りください。

#### 三 助成期間

申請のあった「企画書」をもとに選定し、2018年度の計画に対して研究助成をおこないます。 助成期間は1年(一度助成をうけた学校・個人・団体はその後3年間は応募できません)

#### 四 助成金額

1 学校教育領域

団体部門は1件20万円を限度に、個人研究部門および課題研究部門はそれぞれ1件10万円を限度に助成します。

2 子ども文化領域

子ども文化領域は、1件10万円を助成します。

※学校教育領域、子ども文化領域あわせて20件程度。応募多数の場合は申請額を下回ることがあります。

#### 五 応募締め切り

### 2018年4月20日(金)

#### 六 実践報告

企画書にそった活動の成果(指導案や子どもの活動の様子など)をレポートにまとめて報告をお願いします。 ※所報「教育みえ」5ページ(9000字)以内

#### 七 備考

- 1 応募された「企画書」は返却しません。助成をうけられた学校・団体等の研究報告につきましては、所報「教育みえ」に掲載させていただきます。
- 2 お問い合わせは三重県教育文化研究所(TEL 059-228-5486)にお願いします。



三重県教育文化研究所 三重県教育文化会館

## 第28回三重教育文化賞「企画書」応募用紙

<b>応募領域 (部門)</b> ※該当の領域、 部門へ○をしてください	学校教育領域 団体部門( 子ども文化領域 ( )	)個人研究部門(	)課題研究部門())
学校(園)名 または サークル(活動団体)名			
<b>名前</b> (代表者名)			
連絡先(住所 電話番号)			
<ul><li>1.実践計画</li><li>・テーマ</li><li>・とりくみのねらい</li><li>・事業実践(活動)計画</li></ul>			
2. 助成費の申請内容 ・「経費の概算」をお書きください。 (これからのとりくみの場合は、費目・金額の大体の見積を、すでに支出済みのものを申請対象にする場合は金額を明示してください。)			

※応募締め切り 2018 年 4 月 20 日 (金)

#### 三重県教育文化研究所

〒514-0003 津市桜橋 2 丁目 1 4 2 (三重県教育文化会館内) TEL・FAX 059-228-5486 E-mail kybnkn@mtu.ne.jp

# 第28回三重教育文化賞「企画書」応募用紙 (記入例)

<b>応募領域 (部門)</b> ※該当の領域、 部門へ○をしてください	学校教育領域 団体部門( ) 個人研究部門(O) 課題研究部門( ) 子ども文化領域 ( )
学校(園)名 または サークル(活動団体)名	<b>桜橋中学校2年学年団</b>
<b>名前</b> (代表者名)	教研三重子
連絡先(住所 電話番号)	津市桜橋 2 丁目 142 番地 0 5 9 - 2 2 4 - 0 3 3 1
<ul><li>1.実践計画</li><li>・テーマ</li><li>・とりくみのねらい</li><li>・事業実践(活動)計画</li></ul>	<ul> <li>・ テーマ・・・地域のくらしとわたしたち</li> <li>・ ねらい・・・桜橋商店街の人々の「地域」に対する思いを知り、地域の活性化ために自分たちのできることを提案し、実行する。</li> <li>・ 計画 (5月~7月)①桜橋商店街のあゆみを知る。 ②商店街に残る人々の思いを聞く。 ③職場体験の計画を立てる。 (7月~8月)①グループに分かれ、商店街で職場体験をする。 (9月~10月)①商店街の人々とともに、気づいたことを交流する。 ②商店街を活性化させるにはどうすればよいか、グループで考える。 ③商店街の活性化についてプレゼンをおこなう。 (11月~2月)①地域に入って活動する。 ②まとめ</li> </ul>
2. 助成費の申請内容 ・「経費の概算」をお書きください。 (これからのとりくみの場合は、費目・金額の大体の見積を、すでに支出済みのものを申請対象にする場合は金額を明示してください。)	<ul> <li>講師料・旅費 (10 万円)</li> <li>印刷・紙代 (1 万円)</li> <li>写真代 (1 万円)</li> <li>生徒活動費 (10 万円)</li> <li>発表用ボード、マーカー 8 万円 記録用媒体 (CD-R) 1 万円</li> <li>(パソコン、ビデオカメラ等の備品購入はご遠慮ください)</li> </ul>

### 三重県教育文化研究所

〒514-0003 津市桜橋 2 丁目 1 4 2 (三重県教育文化会館内) TEL・FAX 059-228-5486 E-mail kybnkn@mtu.ne.jp